

第38回応用倫理・応用哲学研究会

# アナキズム史観は存在するのか、 あるとしたらどのようなものなのか？

人類学者デヴィッド・グレーバーの仕事によりながら、近年活性化している「アナキズム的に世界をみる」その方法と、その可能性について考えてみたい。

## 発表者 酒井 隆史（大阪公立大学教員）

社会思想史、都市社会論。主要著作に『賢人と奴隷とバカ』亜紀書房（2023）、『通天閣——新・日本資本主義発達史』（青土社、2011年）、『完全版自由論』（河出文庫、2019年）、『暴力の哲学』（河出文庫、2016年）、『ブルシット・ジョブの謎』（講談社現代新書、2021年）、訳書に、デヴィッド・グレーバー、デヴィッド・ウェングロウ『万物の黎明——人類史を根本から覆す』光文社、ピエール・クラストル『国家をもたぬよう社会は努めてきた』洛北出版、デヴィッド・グレーバー『ブルシット・ジョブ——クソどうでもいい仕事の理論』岩波書店（共訳）、『官僚制のユートピア——』以文社、『負債論——貨幣と暴力の5000年』以文社（監訳）、マイク・デイヴィス『スラムの惑星』明石書店（監訳）、グレーバー『啓蒙の海賊たち』岩波書店（近刊）など。

2025.3.19 (wed) 15:00-17:00

会場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 W409室

開催形式：対面 参加無料/事前申込不要

主催：北海道大学文学研究院  
応用倫理・応用哲学研究教育センター  
TEL 011-706-4088

企画：水溜 真由美（北海道大学）  
問合せ先：  
graeber.sapporo@gmail.com